

+night

Every Saturday January—February 2011

横浜の住宅街にある小さなスペースを拠点に芸術を発信する blanClass が毎週土曜日におくる
ワンナイトイベント+公開インタビュー おいしい軽食(無料)、飲物(有料)をご用意しております

USTREAM にて +night (イベント+公開インタビュー) 絶賛生放送中!!
放送の有無は blanClass の公式サイトでご確認ください

1.8 「おさん新年パーティー」

open 17:00 performance start 18:00 ¥1,500 / 学生 ¥1,300
「横浜の美味し素材を、おさんを通じて味わう」ノガンのおさんをつつきながら、
ほか4組のスペシャルゲストを招いての2011年最初のパーティーです
スペシャルゲスト: NOGANO「ガンのおさん」/ 秋山直子「スライドショー」/ Direct「こまもん」
ヤング荘「鬼追いかの山(仮)」/ なめらか「チューリップと片腹」

1.15 けろ x dracon 「演劇はあひびなるさ。— Where does the drama become? 」

open 18:00 start 19:30 ¥2,000 / 学生 ¥1,800
けのび企画による blanClass 初の演劇公演 関西より dracon を招き「思い出させない2カンパニーのパフォーマンスとトーク
稽古も公開(詳細はHP参照 <http://kenobi-tumblr.com>)

1.22 伊東乾「壁の上のイゾルデ: 〈音の垂直〉をめぐる」

open 18:00 start 19:30 ¥1,500 / 学生 ¥1,300
1900年代に入ってから録音技術の開発、またとなく1950年代以降のステレオ音響の普及によって、僕らの耳はすっかり「平面化」してしまった:
響きの上下方向の感覚がメディアの中から奪われてしまったのだ スピーカーは左右に二つ置いて決して上下には置かない
19世紀までオペラや典礼で普通だった天上界から降り注ぐ声も地の底からわきあがる響きも僕らとはすっかり縁遠くなってしまった...
「トリスタンとイゾルデ」などヴァーグナーの楽劇を題材に〈音の垂直〉をめぐる実践に演奏しながら考える

1.29 井出賢嗣+高橋永二郎「登戸マクドナルド 1階座席壁側午後7時からのおよそ30分」

open 18:00 start 19:30 ¥1,200 / 学生 ¥1,000
I 登戸のマクドナルドで高橋くんが話をしていてとても面白かった 他愛のないことが積み重なって面白さに繋がっていく そんな一回限りの
たまにまをしかし高橋くんは繰り返せるのではないかと考えているようだ 運送トラックのドライバーが東から西にそしてまた東に戻るように
気持ちも繰り返すことができるのだろうか それが今回の問題だ

T 井出くんはトラックドライバーに興味があり、そう言われれば私もなくはない 私の興味は反復すること
学習や訓練によって得られたはずのものは、まったく同じ方法によって簡単に壊れそう...でも壊れない
彼らの握るハンドルの均衡

2.5 金村修「屠殺屋入門写真編」

open 18:00 start 19:30 ¥1,500 / 学生 ¥1,300
写真のスライドと自作の解説です 2000年代の初期を中心にお見せします

2.12 矢内原充志「ワークショップ「筆筒ショー」」

open 18:00 start 19:00 ¥1,000 / 学生 ¥800
友達の家や親戚の家で家族の筆筒を勝手にあさって、よくファッションショーをした おばさんが昔着ていたワンピースや、
肩がせり出した変な色のスリッパをみんなを着て遊んだ 価値の転換はどこで生まれるかわからない

2.19 おさんおさんおさん「おまきとばい」

open 18:00 start 19:30 ¥1,200 / 学生 ¥1,000
日常のありあわせを使った、ことばの調理実習ショー
ゲスト: おささらさま(柿ハンドルドライブ関係) / 外島貴幸 / 山本雅彦

2.26 伊礼卓司+A子とB子「ABラジオナイト今週のテーマ『伊礼卓司: かるい部屋 Portable room』」

open 18:00 start 19:30 ¥1,000 / 学生 ¥800
A子とB子のお届けしている「ABラジオ」初の公開収録!アーティスト伊礼卓司と作品「かるい部屋 Portable room」に
共にお届けします 「もしも、かゝるくて持ち運びができるような部屋があったとしたら」という
考えを出発点とした彼のショーと、A子とB子はラジオで communicate ★
※オープンの18:00には「ABラジオ」収録がスタート
19:30から伊礼卓司「かるい部屋 Portable room」がはじまります

blanClass

〒232-0006 横浜市内南区南太田 4-12-16-2F
<http://blanclass.com> info@blanclass.com
ディレクター: 小林 晴夫 波多野 康介
スタッフ: 上田 朋衛 ボランティアスタッフ: 墨谷 風香



アクセス 京浜急行「井土ヶ谷駅」(横浜駅から下り普通で5つ目)改札を出て正面の信号をわたりすぐを左折、1つ目の交差点を右折、2つ目の角を左折、三井のリパークの後ろの白いblanClassの看板がある細い段々の路地を上がって、右の建物の2階

ACY
Arts Commission Yokohama
横浜市芸術振興活動助成事業